

避難標識を活用しましょう

昨年12月に財団法人宝くじ協会より助成を受けて市内4ヶ所(友知2ヶ所、歯舞、昆布盛)に太陽電池式避難誘導標識を設置しました。

避難誘導標識は、平成10年にも6ヶ所(花咲港2ヶ所、落石、桂木、初田牛、幌茂尻)に設置しており、これで市内10ヶ所となりました。

この標識には近くの避難所までの方向や距離を表記しており、また、太陽電池による蓄電式で日没後に自動点灯するた



避難誘導標識 (歯舞)



避難場所案内図 (花咲港)

め夜間に避難する際の目印となるものです。

このほかにも、設置場所周辺の避難所などを地図で表記した避難場所案内図を市内6ヶ所(花咲港、桂木、友知、歯舞、瑛瑤瑠、落石)に設置しています。

これらの避難標識を有効に活用して、避難経路や避難場所等を把握し、いざという時に備え、日頃から準備しておきましょう。

住宅用火災警報器をそなえよう

近年の住宅火災による死者の増加に歯止めをかけるため、平成16年の消防法の改正により、新築住宅は今年6月1日から、既存住宅は平成23年6月1日から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

住宅用火災警報器は、火災により発生する煙を感じし、警報するものです。特に住宅火災で死に至った原因の7割が「逃げ遅れ」であることから、火災の早期発見を図るためのものです。

設置場所は、就寝中の逃げ遅れを防ぐため寝室や階段の上部への設置が義務付けられています。

なお、消防関係者による訪問販売や特定業者に販売を委託することはありませので、悪徳商法などによるトラブルには十分注意して下さい。

【問合せ先】消防本部警防課予防係

☎ (24) 3164

☎ 0120(565)911
住宅用火災警報器相談室

《住宅用火災警報器の概要》
※天井又は壁(高い所)に取り付けます。
※煙を感じると警報音などが鳴ります。



※電池タイプと電源タイプがあります
※電池が少なくなると警報が鳴ります。

2月の行事予定

地震・津波防災シンポジウム

「地震・津波から身をまもるため」

日時: 2月27日(月) 13時~17時
会場: 根室市総合文化会館 小ホール

楽しい

防災イベントを企画しよう

自主防災組織で防災知識の普及のための勉強会や避難訓練などを行っていると思いますが、地域の多くの住民が気軽に参加できるよう、従来から行われている運動会やお祭りなどの地域の行事に防災知識の普及や防災に役立つレクリエーションの要素を加えたり、防災運動会や防災キャンプのような独自のイベントとして行うのも一つの方法です。

例えば

○防災運動会

消火競争、バケツリレー競争、担架を用いた搬送リレー競争など

○防災キャンプ

避難後の生活を想定して、テントや避難施設を使つての親子サバイバルキャンプなど

様々なイベントを企画してみましょう。

平成18年1月末現在
自主防災組織数
41組織(42町会)

AEDを知っていますか

○AED とは

- ・日本語で自動体外式除細動機と言い「心室細動」を治療するための機械で、ケイレンしている心臓に電気ショックを与え正常な心臓の動きを取り戻すもので、音声により具体的な指示を出す仕組みになっているため、一般の人でも講習を受ければ簡単に確実に操作できる機器です。

○一般の人の AED 使用について

- ・従来は医療行為とされ一般市民は使用できませんでしたが、厚生労働省は平成 16 年に救急現場でそばに医師等がない場合に限り、AED を用いた救命行為を認め、一般市民の使用が可能となりました。

○AED による救出例

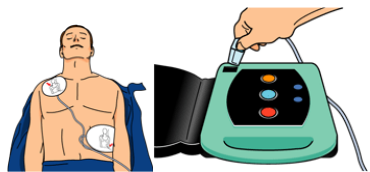
- ・昨年、愛知県で開催された「愛・地球博」では、AED が設置されたことにより心肺停止状態となった人の命を救った事例があるように、最近では空港など身近な所に設置されるようになりました。

◎使用方法（日本赤十字社のHPより抜粋）

1.電源を入れる



2.電極パッドを傷病者の胸部に貼る (ケーブルを本体に接続する)



3.AED が自動的に傷病者の心電図を解析します。 (解析ボタンを押すことが必要な機種もあります)

4.AED から除細動の指示が出たら、 除細動ボタンを押す。



AEDを使用した講習会に参加しましょう。

- ・救急車を呼んでから到着まで、約 6 分の時間がかかります。

心室細動は、救命処置が 1 分遅れるごとに約 7～10%の割合で救命率が低下しますので、現場にいる人の手助けが必要となります。

外出先での不慮の事故に遭遇した場合に落ち着いて対処するためにも、救命講習を受講しましょう。

講習会などは下記までお問い合わせ下さい

なお、AEDは消防本部と歯舞消防分遣所に 1 台ずつ備えております。

【問合せ先】根室市消防本部警防課企画防災係

☎0153-24-3164

◎AED を用いた心配蘇生法(フローチャート)

・傷病者の発見

↓ 危険性あり

・周囲の状況確認 ⇒ 原因除去等の必要な対応

↓ (二次事故の危険性なし)

・全身の観察 ⇒ (出血等あり) 止血等の処置

↓ (出血等なし)

・意識の確認 ⇒ (意識あり) 詳しい観察

↓ (意識なし)

・協力者の要請 [119 番通報、AED の手配]

↓

・気道の確保

↓ (呼吸あり)

・呼吸の確認 ⇒ 回復体位 [観察継続]

↓

・人工呼吸 (2 回)

↓ (サインあり)

・循環のサインの確認 ⇒ 状況により人工呼吸

↓ (サインなし)

・心臓マッサージ 15 回・人工呼吸 2 回 (4 サイクル)

↓

・AED の到着

AED がもっと早く到着した場合は、
除細動を優先して行う

↓

・除細動 (3 回まで)

↓

・循環のサインの確認

↓ (サインなし)

・心臓マッサージ 15 回・人工呼吸 2 回 (約 1 分間)

↓

・循環のサインの確認

↓ (サインなし)

・除細動 (3 回まで)

↓

○救急隊員到着まで心配蘇生法の継続

(呼吸あり) 回復体位
(AED をつけたまま観察)

(呼吸なし) 人工呼吸
(サインあり)

(サインあり)
(呼吸なし) 人工呼吸

(呼吸あり) 回復体位
(AED をつけたまま観察)